

長 蓮 寺 報

NO.16 (平成23. 12. 17)

3月11日

3月11日、丁度 私は、八尾のお寺さんで雅楽の練習をしておりました。いつもは静かな本堂ですが、ガタガタ 本堂の荘厳がゆらゆら揺れます。地震だ！と気づくな否や、すぐに携帯の着信音が鳴りました。地震情報サービスからのメールでした。「宮城県で震度7！」

兎にも角にも、私は、すぐさま山形の実家に電話しました。電話はすぐにつながり、電話口に出た母は、息子とわかると、意外にも落ち着いた様子で「こんなひどく揺れてる最中に何の用事だ」！との叱りと「大丈夫だ」との優しい声に安堵しました。(大きな揺れが5分以上も続いていたので私からの電話の時もまだ揺れている最中だったそうです。)

3ヶ月後、お見舞いかたがた恩人の葬儀で山形に行くと、寝る間もなく時折起こる余震。火葬場に行けば、100km以上も離れている被災地からご遺体を乗せたワゴン車が次々に運び込まれる光景を見て。唯々、手を合わせるのみでした。未だ止まぬ現実を肌を持って体感しました。既に、大震災と原発事故から9ヶ月が経っている今日ですが、放射能汚染の恐怖や風評被害が今でも続いております。

歴史は、繰り返されると言いますが、放射能漏れこそ無いものの、日蓮様がおられた750年前、同様の光景が広がっていました。大地震・大飢饉が続き、まさに世の中は混沌とした時代でした。この時代の多くの人々は、悲観的にこの世を切り捨て、あの世に栄華を求めました。日蓮様はこれを嘆き、「あなた方の心の中には、大小なりとも仏様がおられる。その心を持って、この世にこそ仏の世界を作りましょう」と教えられました。現実逃避を避け、目の前の災いに正面から受け止め、この世で幸せになればならないと叱咤激励されたのです。

ところで震災後、人々の意識も変化があり、外で飲むより、まっすぐ帰宅して晩酌をするお父さんが増えてきているそうです。家庭を大事にしよう！と考える人々が増えてきているのでしょう。人と人の繋がりの重要性を謳う声も増えてきました

私達はこの震災から多くを学び、課題もたくさんクリアしなければなりません。この目の前の災いに押し流されることなく、日蓮様の御教えを守り、社会全体で乗り越えていかねばなりません。日本全体がまとまるためには、まずは「家族」がまとまる必要があります。

以来、わが家では、出来るだけ家族揃っての食事を一層、心がけております。

皆様にとって来る平成24年が幸多き年になりますように。

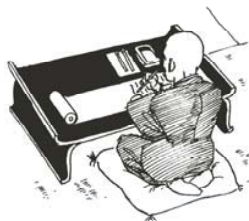
合 掌

平成24年 年忌表

1 周忌	平成23年	1 7 回忌	平成8年	3 7 回忌	昭和51年
3 回忌	平成22年	2 3 回忌	平成2年	4 3 回忌	昭和45年
7 回忌	平成18年	2 7 回忌	昭和61年	4 7 回忌	昭和41年
1 3 回忌	平成12年	2 3 回忌	昭和55年	5 0 回忌	昭和38年

長蓮寺の基礎知識Q & A

Q:「お経」について教えてください ②



今回は、「お経」の歴史的背景についてお話いたしました。先の話だけだと「お経って、お釈迦様の本当のお言葉じゃないの??」とお思いになられた方もおられると思いますが、直の言葉でなくても、必ず根底には「お釈迦様の教え」が綿々と流れていることに間違いはありません。

〇お経の意義

皆さんは「お経」というと、どんなイメージを持たれていますか？

- ・難しい
- ・坊さんが法事の時に唱えるコトバ
- ・漢字だらけ
- ・亡くなられた人に捧げるモノ 等々・・・

たぶん、こんな答えがたくさん返ってくるのではないのでしょうか？

確かに、分かり難くいし、とりつきにくいんですけど、本当はとても素晴らしいモノなんです。

どうしてもお葬式や法事のイメージが強いので、「亡くなった人の為だけのモノ」のように思われがちですが、決してそうではありません。"生きている人&亡くなった人すべての方が幸せになるためのメッセージ"が「お経」なのです。

「お経」に触れる機会が非常に少なく、どうしても葬儀や法事の時に限られてしまっている現代では、こんな誤解を生むのも仕方ない事かもしれません。

〇お経の功德

「お経」には、様々な功德があります。

一番わかりやすい例を申し上げますと

あなたが、何か悩みが生じたときです。解決方法として、他の人に相談する。という方法もあるでしょう！でも、時としてそれができないことも少なくありません。そんな時は御仏壇に向かいお経を唱えて見て下さい！お経を何度も何度も繰り返しお唱えしていると段々、気持ちが落ち着き、自分の心の迷いを取り去ることができ物事を冷静に見ることができるようになるのです。

当然、ありがたい「お経」ですが、ただ単に「お経本」を仏壇に供えるだけではいけません。

私達の法華経21番目のお経 如来神力品に

「この経を受持し、読誦し、書写して修行すべし..

故は如何。まさに知るべし」

たとえ少しだけでも、お経を読んだり、人に読んで聞かせたり、あるいは写経したりすることは、大変に功德がある。実践してみればわかるよ！



と書かれております。実践することが大事なのです。

先日、檀信徒のご婦人Aさんから質問を頂きました。

「私は毎朝 仏壇には欠かさずお参りしております。お経も30分以上はお読みしているのですが、何も良いことが起こりません。良い事どころか！孫は大病にかかるし、子供は事故に遭うし悪いことだらけです。これで、お経の功德なんてあるのでしょうか？」

お経は読んでも、また写経しても功德があります。しかしその功德というのは特効薬のように飲めばすぐに効くものではありません。

瀬戸内寂照さんは著書の中で次のようにおっしゃってます。

「今から1,000年以上前、平安時代に栄華を誇った平家。一族の繁栄を願い沢山の
お経を写経し厳島神社に奉納しました。所謂「平安納経」しかし、それだけの手間
と費用をかけて、ありがたいお経を奉納した平家の末路はどうだったでしょうか。

「平家納経」を奉納して21年後の寿永4年(1185) 壇ノ浦で平家は源氏に滅ぼされて
しまいました。このことで解るように、写経や読経をすれば、必ず現世の幸福が
約束されるというものではありません。もし写経した分だけご利益が帰ってくるの
であれば、それは仏様が私たちと取引していることになってしまいます。写経100
0巻ならガンが治り、読経1000巻なら金持ちになれる。これでは写経や読経は
「幸せのクーポン券」ではありませんか。そんな安っぽいことを仏様がなさるわけ
がありませんし、また見返りを期待して写経をしたり、お経を唱えるのでは本当の
信仰とはいえないでしょう。」

先のAさんの事も同様です。彼女には基本的に大きな間違いがありました。

彼女は、ご自身のご家族の無事を祈ってお経を唱えておられたのです。当然、その
ような唱え方では、功德なんて積みません。



そこで、私はAさんに次のようにアドバイス致しました。
「毎朝のおつとめ（読経）は、出来るだけ何も考えずにお経
をお読み下さい。

これ以外に一日10人だけでイイですから（家族以外）他人
の幸せを祈って下さいませは100日間を目標にね！」

すると、どうでしょう！Aさんは今、とても幸せになった
と言っておられます。



◎長蓮寺カレンダー



年末に配布させていただいてますカレンダーを変更しました
今までは法華宗で発行しておるカレンダーを長年（20年以上）
使っておりましたが、「もう少し、解りやすいもの」との
ご要望もあり、お子様にも見ていただけるようなカレンダー
に変更しました。

◎猷久会発足！



“お経と太鼓の練習をする会”を毎月7日に行っておりましたが、
土日開催の要望も強く、本年5月より「猷久会」と名称を変更し、
「第1日曜」に開催しております。参加費無料です。
気軽にお越し下さい。

◎長蓮寺ふれあい活動参加者 募集

長蓮寺では、寺内のみならず、様々な"長蓮寺ふれあい活動"を企画しております。
本年は、春に「山菜採り教室」秋に「海釣り体験」を開催し、
たくさん参加いただきました。来年度も、このような檀信徒の
交流の場を色々企画しようと思っております。皆様 ふるってご参加ください。



◎節分会（豆まき）

平成24年1月29日（日）午前11時～



明年の節分会（豆まき）は1月29日に開催致します。
徐々にご参詣の方も増えてこられ、昨年は50名以上
喜んでおります。みなさま、家族お誘い合わせの上
お越し下さい。

尚、お札・御祈願を希望される方は、
同封致しました別紙の申込用紙にご記入の上
お申し込み下さい。